比布町立比布中央学校
１１月号
令和６年１１月２９日
文責　小田島　充彦
玉置　英樹

開校記念日に寄せて

校長　杉　本　　仁

11 月 22 日（金）は、比布中央学校の開校記念日でした。今回は、この開校記念日について書きたいと思います。11 月 22 日という日は、ご存じの方も多いと思いますが、もともとは比布中央小学校の開校記念日です。以前、校歌のことを話題にさせていただきましたが、校歌は比布中学校のものを引き継ぎ、開校記念日は比布中央小学校のものを引き継いだことになります。ちなみに校訓の「愛と誠意」は中央小学校の校訓「愛」と比布中学校の校訓「誠意」の両方を引き継いだものです。

それでは比布中央小学校の歴史と 11 月 22 日の由来を振り返ってみたいと思います。

比布中央小学校は、昭和 40 年４月１日、比布小学校と西分校、東園小学校と統合し比布町立中央小学校として開校しました。翌年、さらに南小学校と統合し昭和 42 年初代の校舎が完成しました。

【昭和 42 年落成の旧校舎】

開校以来 50 年以上、比布町の発展とともに歩み続け 3，000 名を超える卒業生を送り出してきました。この間、校舎は平成 18 年に校舎棟、19 年に体育館が改築され、20 年の外構工事の終了をもって全面改築がなされました。（現在の中央学校前期課程校舎です。）

その後、平成 21 年 3 月 31 日で閉校した蘭留小学校を統合し、平成 21 年 4 月より、町内唯一の小学校として歴史を刻んできました。

開校記念日の 11 月 22 日ですが、昭和 42 年 4 月 1 日に校舎完成、8 月 15 日にグラウンド造成完了、11 月 3 日に体育館完成となり、全ての工事が終了したのち、11 月 22 日に校舎の落成式典、開校式典を挙行したとなっており、この日を記念し 11 月 22 日が比布中央小学校の開校記念日となりました。

校歌を歌うことで、比布中学校の歴史と伝統を後世につなげたいという思いと同時に、開校記念日の由来について確認していくことで、比布中央小学校の歴史と伝統を、しっかりと伝えていくことが、比布中央学校の使命だと感じています。

冬型の交通事故に気をつけよう

12 月に入り、本格的な降雪の時期になりました。道内各地では、既に凍結や積雪路面での冬型交通事故が起こっています。比布中央学校の子どもたちから、このような事故の被害者を出さないため、折に触れ指導をしておりますが、ご家庭でも外出時に声を掛けたり、冬期間の交通安全について話し合う機会を設けたりしていただければ幸いです。

冬の交通安全のポイント

① 道路は積雪や凍結などで滑りやすいので、車は急に止まれません。道路を横断するときは、左右をよく見て車が停止したことを確認してから渡りましょう。また、急な飛び出しは絶対にやめましょう。

② 道路に滑り落ちる危険性があるので、道路わきの雪山には絶対に登らないようにしましょう。また、登下校中の雪玉遊びもやめましょう。

③ 屋根から落ちてくるつららや雪に注意しましょう。特に、軒下のつららを取りに行くのは、非常に危険です。

④ 大丈夫だと思いますが、冬道では、自転車を利用しないようにしましょう。

比布町で生まれ育っているのですから、雪に親しみ、冬を楽しく過ごす子どもたちであってほしいと願っています。安全に、楽しく冬を過ごしましょう。

合唱交流会を行いました。

１１月１４日（木）に合唱交流会を行いました。昨年度は、６～９年生の合唱コンクールを行いましたが、今年度はさらに内容を拡大して実施することができました。前半は、５～９年生の合唱コンクールを実施しました。緊張した中でしたが、どの学年の合唱も大変素晴らしく、聞いている人たちに感動を与えました。学年が進むに伴い、男子の声の安定感が増すのも、聞いていて感じることができました。審査員は、村中町長様、合唱ワークショップでお世話になった川島先生、杉本校長先生の３名にお願いし、審査していただきました。どの学年も、その学年に応じた素晴らしい歌声を聞かせてくれましたが、審査の結果、９年生が最優秀賞に輝きました。後半は、１～４年生の児童も参加し、全校児童生徒と参加者全員で「ふるさと」を歌いました。審査員もしていただいた川島先生による、全体指導のあと全校で歌ったのですが、５年ぶりに全校で歌うことができ、体育館中に歌声が響き渡りました。義務教育学校ならではの、有意義な取組になったと思います。参加していただいた、たくさんの保護者みなさま、本当にありがとうございました。

２回目の避難訓練を行いました。

１０月３１日（水）に、今年度２回目の避難訓練を実施しました。今回は、昼休み中に地震→火災がおこった場合を想定して行いました。放送をしっかりと聞き、全校児童生徒が生徒玄関前に素早く避難することができました。また、後期課程の生徒は、その後５時間目に学年ごとに分かれ、心肺蘇生、消火訓練、救急救命について、消防の方の指導の下で講習を受けました。

後期課程生活体験を行いました。

１０月２９日（火）に、６年生の後期課程生活体験を行いました。後期課程の授業を見学したり、実際に後期課程の先生の授業を受けたり、進路についての話を聞いたりするなど、後期課程について理解を深めることができました。また、午後には、生徒会主催の集会への参加や部活動体験も行われました。部活動体験では、６年生のそれぞれの希望をもとに体験を行いましたが、楽しそうに７・８年生と活動する様子が見られました。

体験後の子どもたちの感想では、不安だったことが解決し後期課程への進級が楽しみになった、学校行事が楽しみ、生徒会の活動をやってみたいなどの意見があり、後期課程での学校生活に意欲をもつことができる体験となりました。

町教研公開授業がありました

１１月６日（水）に町教研公開授業を行いました。今年度も、先生方で道徳の授業の研修をしており、義務教育９年間を通して「えらぶ子　きめる子　やりぬく子」を育てようという目標を設定して取り組んでいます。

今年度も全職員で何度も研修を重ね、４年生（宇野教諭）、５年生（長嶋教諭）、９年生（千田教諭）で道徳の授業公開を実施しました。本校の教職員はもちろん、他の学校の方や、教育委員の方々、ＰＴＡ会長様にもご来校いただき、授業を参観していただきました。

本校の研修は、前期課程・後期課程に関わらず、全ての子どもを全教職員で育てていくという意識のもとで行われています。義務教育終了時の子どもの姿を意識した熱心な話し合いをすることができました。

４年生防災教室を行いました。

１１月１１日（月）に、４年生の防災教室を行いました。これは、４年生社会科の中の「自然災害にそなえるまちづくり」という単元の一部であり、外部講師をお招きして毎年行っているものです。

今年度も、上川総合振興局危機管理室の土子様、役場総務課の滝沢様にお越しいただき、災害発生のメカニズムや被災した際の行動を学びました。その後、避難所で使用できる新聞紙で作るスリッパの製作体験や、町が備蓄している段ボールベッドの組み立て体験を行いました。その際、町内の「いずみ会」の皆様に、ボランティアで活動をサポートしていただきました。

学習を通して子どもたちは「もし避難することになったら、自分たちができることを考えて避難所で手助けをしたい。」など、自分事に捉えて感想を述べる姿が見られました。

２日（月）　職員会議
　　交通安全街頭指導（後期）
３日（火）　参観日、懇談会
　　４、７年生親子レク
４日（水）　前期集会
　　スクールカウンセラー来校
５日（木）　読み聞かせ（１、２年）
　　いじめ防止集会（後期）
６日（金）　クラブ（前期）
　　９年生学力テスト
１２日（木）　７年上級学校体験報告会
１３日（金）　委員会（前期）
１６日（月）　大掃除週間（～２４日）
１７日（火）　貯金日（前期）
１９日（木）　後期集会
　　学校運営協議会
２０日（金）　特別支援合同クリスマス会
　　クラブ（前期）
　　スクールカウンセラー来校
２５日（水）　２学期終業式（給食あり）
　　貯金日（後期）
２６日（木）　冬季休業（１月１６日）
　　学習サポート①
　　自主学習支援①
２７日（金）　学習サポート②
　　自主学習支援②
２９日（日）　学校閉庁日（～１/３）